

学校通信
白 檀 南 だ よ り
 檀原市立白檀南小学校
 2023年3月20日
 ☎ (27) 5488 Fax (27) 5582



3学期後半も体験やゲストティーチャー・地域の方々からも学びを深められました。

体験学習



バスケット教室

本や映像等の情報で学ぶのではなくその人やものや場所から実際の経験を通して学ぶことが本当に大事だと思います。アスリート交流事業では、バンビシャスによるバスケット体験をすることができました。選手の身体的な能力に触れるだけでなく、バスケット技術のドリブルやシュートなどを教えて頂き、ミニゲームもしてもらえました。白檀中学校の新入生体験入学。近くに中学校はあるもののどんな学習、どんな学校生活、どんな校舎。実際に

中学校の先生たちから説明を受けて、学校を案内してもらい、体験授業を受けて、部活も見ることができました。避難訓練と救急救命講習。これも実際に経験しているのといないのでは、自分のとる行動が変わります。避難訓練は年に定期的に3回実施しております。

火災・地震・不審者の対応訓練は必須となります。特に昨今話題となる巨大地震時や不審者の対応には、日頃から、子どもたちに説明をすることは大切であることと、この場所ならどう逃げる？どんな行動をとる？というのを頭で覚えるよりも体で覚えることがとっても大切です。また、突然死は統計的には交通事故よりも発生確率が高く、いつ起こるかわかりません。いつ何時と考えると、学校の中でもAEDがつかえる状況に職員だけでなく子どもたちにも学んでもらうことが必要です。今年は高学年だけですが消防署の救急救命に携わっている人たちを招いてAEDについて、手順について学習しました。また、自分の命に関する「薬物防止」についても学校薬剤師を招いて学びを深められました。

AEDを使った救急救命講習



外+部講師による学習

命の授業。宇陀アニマルパークさんによる年3回の学習です。その名の通り動物のこととそれを取り巻く環境について話を進めてもらうとともに、どの命も大切であり自分たちにはどうすることができるのか？ということを学びました。同じ命の学習として、心友(コト)助産院の助産師さんをお招きして、人間の命の誕生・大切さについても学習しました。

命の授業



馬頭琴

国語科の学習では「馬頭琴」を学ぶためモンゴル籍の春欄さんをお招きして物語の場所やその歴史、そして馬頭琴を演奏してもらいました。「狸の糸車」では、隣のこども総合支援センターさんによる劇を見せてもらい、その後現在



たぬきの糸車

ではなかなか見ることのできない糸紡ぎを体験させてもらいました。どちらも実際に背景を知り、道具を手にするすることで、物語の内容理解に大いに役に立ちました。

そのほか、白檀の地域を知るために白檀町自治会長さんから、街の歴史、今取り組んでいることなどをお話していただいたり、地域の方から戦争体験談をしていただいたりしました。6年生は特に平和教育に取り組んでいますので、最後は「ピースメッセージ」としてみんなに戦争についての考えや自分たちの行動について発表し、全校のみんなに発信できていました。また、地域の方からキャリア(仕事)についても学校でお話をしていただけました。

今回、学校の子どもたちに多くの体験やお話をいただけたことに大変感謝しております。地域の皆様にもお忙しいなか来ていただき、その内容と思いを伝えていただけたことに厚くお礼申し上げます。来年度以降も白檀南小学校の子どもたちにご指導いただけますようよろしくお願いいたします。

6年生を送る会



ここ数年、コロナ禍であったため、いろんな行事が中止や縮小といった形をとってきました。少しずつではありますが、感染症対策の取り方や工夫、また対策についてオンオフをはっきりさせながら取り組みの一つ一つが戻りつつあります。

今回の6年生を送る会はみんな体育館に集まり、各学年の趣向を凝らした出し物を披露してもらえました。6年生が主役ではありますが、学校のためにいろいろとやっていた「図書(代表榎並さん)」のボランティアさん、「園芸(代表今本さん)」のボランティアさん、朝の見守り(井川さん)のボランティアさんに声をかけて、この会に花を添えていただきました。6年生からは感謝を込めてカードとプレゼントを手渡していました。6年生は、ほかにも地域の方やおいしい給食を作っていた調理場の方々にも感謝を伝えに行きました。

南小学校の子どもたちをここまで支えていただいたことに感謝を表すことは本当に大切なことで、今後も学校としていろんな形でそういう思いを伝え合うことのできる学校にしていきたいと思います。

卒業式

3月17日(金) 第53回卒業証書授与式を挙行了しました。これまでは、感染症対策により6年生と保護者のみとなっておりますが、今年は在校生も入れることができました。

在校生は声を出して呼びかけや歌うことはできませんでしたが、今年の卒業生は15名は全員マスクを取り、立派な姿で卒業証書を手にすることができました。

その後、「わかれの言葉」も銘々に自分の思いや気持ちを添えながらしっかり伝えてくれました。15人ではありますが一人一人の個性が特段に光っているような、またとても忘れられない卒業式となりました。卒業生にも伝えましたが、これからの彼らの行く道は、けして平坦ではないでしょう。

「中学生」という多感な時期、そして続いていく道には、大きく変わるであろう社会を生き抜いていかねばなりません。

その中にあっても自分の「こうなりたい」「こう生きたい」を追求しながら「夢」を追い続けることを願うばかりです。「続けることこそ最大の武器」となるよう応援していけたらと思います。本当にいい卒業式でした。

来年度は第54回となります。この54期は、白檀南小学校の最後の卒業生となります。次の子どもたちにいい思い出と白檀南小学校への思いを胸に、白檀小学校へと続いていきたいと思います。

最後になりましたが、本年度は多岐にわたり、ご理解・ご協力・ご支援を頂きありがとうございました。今後ともよろしくお願いいたします。

